

富沢ゼミ



富沢遺跡の折れたナイフ形石器からみた 石槍の歴史と人類



富沢遺跡から見つかった折れたナイフ形石器は、約2.5万年前の旧石器人が槍先に用いたと考えられています。

当講座では、旧石器時代から使われている槍^{へんせん}の変遷を通して、新旧両人類の交代劇、槍から弓矢への狩猟具の変革、さらには武器としての槍の登場と戦争について、東北学院大学の佐川正敏教授にお話いただきます。

2025年 **7月26日（土）** 14時00分～15時30分

講師：^{さがわ まさとし}**佐川正敏** 氏（東北学院大学 教授）

■会 場：地底の森ミュージアム 研修室

■参加費：無料 ※入館料が必要です

■定 員：先着 45 名 ※申込不要、当日 13 時 30 分より受付



▲富沢遺跡から見つかった折れたナイフ形石器



公益財団法人 仙台市市民文化事業団

地底の森ミュージアム

仙台市富沢遺跡保存館

入館料

区 分	個 人	団 体 ※30名以上	共通入場券
一 般	460円	360円	490円
高 校 生	230円	180円	280円
小・中 学 生	110円	90円	150円

※共通入場券：仙台市端文の森広場と当館の両館見学の際にお得です。
※当館は「どこでもパスポート」対象施設です。

HP はコチラ↓

【問い合わせ先】

〒982-0012

仙台市太白区長町南 4-3-1

TEL: 022-246-9153

